

就職対策研修会に参加して

日本体育大学三年

渡邊 亮

今回の就職対策研修会は、就職について学べ、さらに、静岡県のつながりを深められる大変よい機会となりました。土屋正男会長をはじめ多くの先輩方から貴重なお話をいただきました、学ぶことが多くありました。

今の就職状況や採用試験に関すること、こういった人間を学校・企業が求めているかなど様々なお話を聞き、今まで以上に将来に向けて勉学に励まなければいけないと感じました。特に面接に関しては、必要以上に自分自身をアピールしないこと、前向きな姿勢を大切にするなど、助言をいただいたので、今後に活かしていきたいと思えます。



また、土屋正男会長の「志と覚悟をもって」というお言葉が強く印象に残っています。何事も志と覚悟がなければ、いつか妥協し夢や目標を叶えられないまま終わってしまします。私自身、今夏に教員採用試験が控えているので、教員になるという目標を叶えられるよう、志と覚悟をもって日々精進していきたいと思えます。

新たな挑戦と感謝



静岡城北高校

永田一美 (昭56卒)

私は、野球少年でした。しかし、高校進学で選んだ学校には野球部がありませんでした。いくつもの運動部から入部の誘いを受けました。その中に体操部がありました。実は、水泳と体操が苦手だったので。鉄棒の授業に「け上がり」がありました。指導されたN先生は、日体大体操競技部の卒業生でした。「いいか俺が言う通りにやれば出来る。」やったことも無い「け上がり」が一発で上がってしまったのです。今思えば、ここが教員人生の始まりでした。女子の体操部しか無かったのでマネージャーとして席を置き活動しました。大学進学でも「お前は、教員向きだから日体大へマネージャー候補として進みなさいと肩を押して下さい

ったのもN先生でした。第一学生寮の同室になったM君は、静岡県のトップ選手、マネージャー候補として入学した私にとっては雲の上の人のように感じていました。ふとした話の中で彼は、「静岡県男子を俺がやるから君は、女子を頼む」これがきっかけで入県の猛勉強が始まりました。

初任校の体操部は、廃部になっていました。女子バレー部顧問になり、多くの同窓生を頼りバレーボールを学ばせていただきました。

二校目は、体操部が休部から廃部になる年でした。男子バレー部顧問となり同窓のN先生には非常にお世話になり今の指導の原点になっていると感謝しております。途中から陸上競技部に移り、選手は国体で入賞するまでに成長してくれましたが後輩の同窓生の力がありました。

三校目は、男子新体操顧問でしたが多くの皆さんの支えで総体や選抜の大舞台に出場することができました。

四校目は、三月に廃部が決定したばかりの陸上競技部でした。トラックの部で全国制覇をしたチームの卒業生のパワーには驚かされましたが同窓の方々の指導をいただき九名の選手をブロック大会まで出場させていただきました。

五校目は、段違い平行棒のバーが手すりになっておりました。女子バ



レー部顧問です。進学校なので練習量は多く取れませんがここで多くの同窓生のおかげで県大会常連校となれました。

現在の六校目では、女子新体操部に挑戦中です。正式種目となった第一回大会の団体徒手で全国制覇を成し遂げているチームへの周囲の期待がプレッシャーとなっており、皆様に支えられ昨年度団体でブロック大会、選抜大会と出場させていただきました。

これほど多くの競技に接して大きな舞台の監督になれたのも選手と同窓生の皆様のお導きだと感謝しております。日本体育大学へ進学し本当に良かったと思えます。定年まであ